

## ※ナイノア・トンプソン氏略歴 ホクレア号年譜

1953年：オアフ島ホノルル生まれ。

1975年：古代ポリネシアのカヌーを復元したホクレア号完成

1976年：ミクロネシア・サタウル島の伝統航海士マウ・ピアイルグがホクレア号のハワイ・タヒチ間往路の航海士を務め航海に参加。成功をおさめる。

ナイノアは、マウがタヒチで下船したため通常航法になった復路に参加。

1977年：ハワイのビショップ博物館のプラネタリウムで本格的に星を学び独自の航法を編み出す

1978年：ホクレア号の航海士として再度ハワイ・タヒチ間航海を試みるが転覆事故が起こる。

1979年：マウ・ピアイルグをハワイに招聘し伝統航海術を学び、近代天文学と融合したハワイ独自の伝統航海術を構築。

1980年：ホクレア号の航海士を務め2度目のハワイ・タヒチ間往復航海を成功。

1985年～1999年：

ハワイ～ニュージーランド・イースター島等太平洋の島々を伝統航海術で航海し、成功をおさめ、古代ポリネシア人がカヌーで太平洋の島々への移動し移住したことを証明した。

1986年：ハワイ大学から海洋学の学士号を取得。

2007年：ホクレア号でマウ・ピアイルグへの感謝の意を込め故郷サタウル島まで航海。マウによってナイノアをはじめ5名のハワイ人に伝統航海士（ポー）の称号を授ける儀式が行われる。

その後引き続き、ハワイへの移民に感謝する日本航海が行われ沖縄・長崎・広島・山口・宇和島・横浜等に寄港し成功をおさめる。

2013年～：ホクレア号世界一周航海プロジェクト開始。2015年現在、アフリカ大陸に到達。